

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Dコート 第2試合 県立深谷第一高校

チームA				チームB
県立松山南	52	10 - 22 14 - 19 17 - 14 11 - 16	71	県立福島東
愛媛				福島

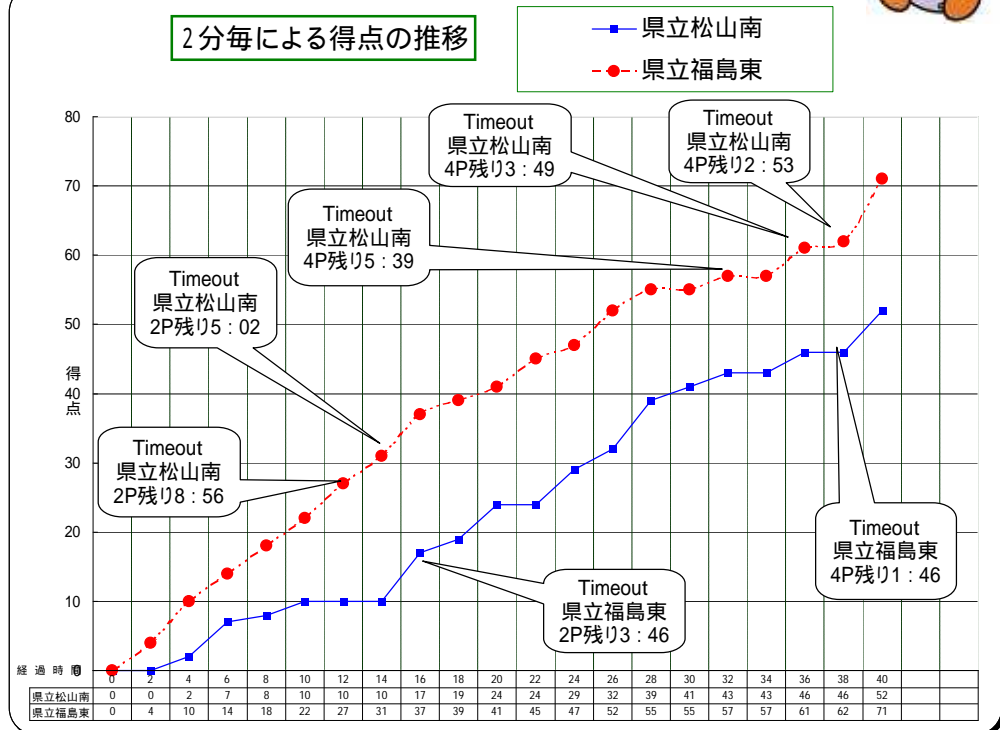
県立松山南

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	池内 丈二	X	0	0	3	0	2	0	0	3	0	1	0	0	0	0	19
5	坂本 真人	X	20	4	6	1	6	6	10	4	2	7	4	3	0	0	40
6	仙波 弘行	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
7	鶴田 佑介	X	6	0	0	1	5	4	4	3	2	2	2	3	0	0	22
8	村上 貴哉	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	神田 健人	/	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	4
10	門屋 直人	X	6	0	0	3	9	0	2	1	3	10	6	1	0	0	39
11	伏谷 将典	/	9	2	10	1	8	1	2	1	1	9	6	1	3	0	32
12	石川 怜	X	11	2	6	2	5	1	1	1	0	2	1	1	2	0	38
13	赤堀 翔太	/	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
14	大塚 慶太郎	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	酒井 啓丞	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	對尾 圭三	/								0	0	0	2				
出場: ×は先発、/は出場			52	8	25	8	37	12	19	16	9	33	21	9	6	0	200
確率				32.0%		21.6%		63.2%				計	42				

県立福島東

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	阿部 幸介	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
5	穂積 真人	X	12	0	0	6	9	0	2	3	9	7	2	1	1	5	40
6	木戸 悠太郎	X	17	0	1	7	15	3	6	3	4	9	4	3	3	4	38
7	後藤 祥太	/	10	2	10	2	2	0	0	3	2	0	1	0	0	0	28
8	佐々木 祥尚	X	8	0	0	4	9	0	0	4	1	6	5	2	3	1	24
9	高橋 諒	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	小柳 竣	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	熊坂 仁志	X	7	0	5	2	6	3	7	4	1	3	5	2	13	4	37
12	山口 徹	X	16	2	14	5	10	0	0	2	0	7	3	0	0	0	29
13	大谷 翔太郎	/	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	2
14	平子 淳一	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	関 雄介	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
コーチ	菊田 剛史	/								0	0	0					
出場: ×は先発、/は出場			71	4	30	26	51	7	18	19	17	33	21	8	20	14	200
確率				13.3%		51.0%		38.9%				計	50				

2分毎による得点の推移



戦評

19年ぶり4回目の出場松山南と2年ぶり5回目の出場福島東の戦いとなった。
第1P互いにハーフコートマンツーマンでスタート。出だし緊張から両チーム共にターンオーバーが目立つが、福島東は厳しいディフェンスからリズムをつかみ#11熊坂、#5穂積の得点でリードを奪い2対10福島東がリードで終了。
第2P福島東は#12山口の3P、#5穂積のハイポストからの1対1で連続得点。たまたま松山南はタイムアウトを取るが、福島東#5穂積がリバウンドを頑張りリードを広げる。残り5分松山南はディフェンス2 1 2ゾーンに変えると福島東も攻めあぐみが4対24福島東リードで後半へ。
第3P松山南のゾーンディフェンスに対し効果的にアウトサイドシュートを決める福島東は残り5分2 2 1オールコートプレスから2 3ゾーンディフェンスに変え松山南のオフェンスを苦しめる。対する松山南も2 2 1オールコートディフェンスで切り返すが思うように差は縮まらず、55対41福島東がリードを保つ。
第4P互いにディフェンスを頑張り思うように点が伸びないながらも松山南の無理なオフェンスを#6木戸がスティールし流れをつかむ。ゲームを通しディフェンスを頑張り、リバウンドを支配した福島東が71対52で勝利した。

主審	吉田 憲生	副審	渡邊 浩二	戦評	佐々木 信勝 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	-----------------